

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 28年												平成 29年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月 ~2日	4月 ~9日	4月 ~16日	4月 ~23日	4月 ~30日	5月 ~7日	5月 ~14日	5月 ~21日	5月 ~28日
カンピロバクター	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	66	84	61	68	80	18	25	34	31	14	9	30	19	25
病原性大腸菌	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	180	147	107	105	89	13	28	11	21	12	6	7	33 (37)	13
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	4	6	0	1	7	2	3	3	1	2	2	2	3	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	8	15	6	11	12	2	2	4	5	2	2	5	1	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	14	20	16	19	13	3	4	1	3	6	5	4	2 (3)	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	2	2	0	2	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0
ロタウイルス	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	1	1	2	0	1	3	2
アデノウイルス	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	21	7	4	8	1	3	2	0	0	0	2	7	2

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成29年第21週(5月22日~5月28日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5	1			1	2		1
三類	0	発生なし	0							
四類	4	つつが虫病	1				1			
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	2					1		1
五類全数	7	ウイルス性肝炎(E型, A型除く)	1							1
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2				1	1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		梅毒	3					2		1

注) 西部 … 大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市  
西部東 … 竹原市, 東広島市, 大崎上島町  
東部 … 三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町  
北部 … 三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第21週 5/22~5/28)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 手足口病

定点当たり4.50人と、前週と比べてやや増加しました。今後さらに増加する可能性があり、注意が必要です。

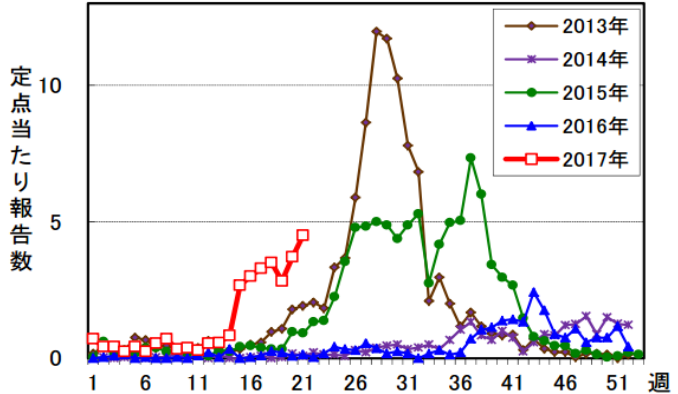
手足口病は、乳幼児を中心に主に夏に流行がみられるウイルス性の疾患です。広島市では、数年おきに比較的大きな流行がみられ、近年では2013年と2015年に流行しました。

感染対策として、日頃からしっかり手洗いをすること、排泄物を適切に処理することが大切です。

2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.08人と、例年同時期に比べて多い状況が続いており、注意が必要です。

手足口病の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	4	0.11	0.25		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.67	
	咽頭結膜熱	17	0.71	0.58			RSウイルス感染症	3	0.13	0.13	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	98	4.08	2.93		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	162	6.75	8.21			流行性角結膜炎	6	0.75	0.64	
	水痘	16	0.67	1.00		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	108	4.50	0.62			無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	4	0.17	0.16			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	13	0.54	0.67			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	百日咳	-	-	0.07			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29		
	ヘルパンギーナ	9	0.38	0.44							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	58	女性(10歳未満)・1人、女性(50歳代)・1人
4	レジオネラ症	1	12	男性(50歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	4	男性(100歳代)
5	梅毒	2	21	男性(30歳代)・1人、女性(30歳代)・1人

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.4) 気管支炎 鼻炎	3	女	2017/04/14	鼻汁	B型インフルエンザウイルス ヒトメタニューモウイルス
インフルエンザ	発熱(38.8) 鼻炎 両下肢の痛み	5	女	2017/04/22	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	発熱(39.0) 咽頭炎	33	男	2017/04/14	咽頭拭い液	A群溶血性レンサ球菌

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載